



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 イヌイ倉庫株式会社

コード番号 9308 URL <http://www.inui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 康之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 コーポレートスタッフ (氏名) 小林 雅史

TEL 03-5548-8613

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,847	1.1	267	103.2	280	105.0	190	318.4
26年3月期第1四半期	1,827	△4.3	131	△36.2	136	△33.5	45	△52.0

(注)包括利益 27年3月期第1四半期 218百万円 (ー%) 26年3月期第1四半期 △27百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	11.95	ー
26年3月期第1四半期	2.85	ー

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	39,467		16,784	42.5			1,051.77	
26年3月期	40,149		16,651	41.5			1,043.46	

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 16,784百万円 26年3月期 16,651百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	ー	9.00	ー	9.00	18.00
27年3月期(予想)	ー	9.00	ー	ー	ー

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成26年5月12日に公表しましたとおり、平成26年10月1日付で当社は乾汽船株式会社と合併する予定であるため、平成27年3月期の期末配当につきましては未定であります。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,706	0.3	454	39.9	391	35.2	268	40.8	16.79
通期	7,527	2.7	921	179.4	794	214.0	545	247.8	34.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成26年5月12日に公表しましたとおり、平成26年10月1日付で当社は乾汽船株式会社と合併する予定ですが、連結業績予想に本合併による影響は織り込んでおりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	18,200,000 株	26年3月期	18,200,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	2,241,936 株	26年3月期	2,241,936 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	15,958,064 株	26年3月期1Q	15,958,325 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、物流業界においては、貨物保管残高及び貨物取扱量は堅調に推移いたしました。また、賃貸物流施設の稼働率は高い水準にて推移いたしております。

不動産業界においては、都心部の賃貸オフィスビル市況は空室率の低下が続き、東京23区の賃貸マンション市況はほぼ横ばいで推移いたしました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収益につきましては、前年同期比20百万円増収(+1.1%)の1,847百万円となりました。また、営業利益は前年同期比135百万円増益(+103.2%)の267百万円、経常利益は前年同期比143百万円増益(+105.0%)の280百万円、四半期純利益は前年同期比145百万円増益(+318.4%)の190百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績は以下の通りであります。

## ①物流事業

物流事業におきましては、トランクルーム事業の収益寄与があったものの、倉庫事業において既存顧客の取引高の減少により営業収益は前年同期比30百万円減収(△3.7%)の794百万円となりました。セグメント利益は前年同期に持分法適用関連会社で損失を計上したこと等により、前年同期比113百万円増益の58百万円となりました。

## ②不動産事業

不動産事業におきましては、既存賃貸物件の稼働率上昇や本年1月に稼働を開始したシェア型企業寮「月島荘」の収益寄与に伴い、営業収益は前年同期比90百万円増収(+9.4%)の1,053百万円となりました。セグメント利益は月島荘の減価償却費を計上したこともあり前年同期比9百万円減益(△2.6%)の359百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、借入金の返済に伴う現金及び預金の減少や減価償却による有形固定資産の減少等により前連結会計年度末比682百万円減の39,467百万円となりました。負債は借入金の返済等により前連結会計年度末比814百万円減の22,682百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比132百万円増の16,784百万円となりました。

この結果、自己資本比率は41.5%から42.5%になりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して427百万円減少し、1,008百万円となりました。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果として得られた資金は、557百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益280百万円、非資金損益項目である減価償却費325百万円によるものです。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、123百万円となりました。これは主として、月島荘竣工に伴う不動産取得税の支払によるものです。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果として使用した資金は、813百万円となりました。これは主として、借入金の返済によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、平成26年5月12日に公表いたしましたとおり、平成26年10月1日付で当社は乾汽船株式会社と合併する予定ですが、連結業績予想に本合併による影響は織り込んでおりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間において、イヌイ倉庫住宅サービス株式会社及び株式会社東京エースボウルは総資産、営業収益、当期純利益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,435	1,008
営業未収金	372	352
その他	561	435
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	2,369	1,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,022	15,879
土地	1,002	1,002
信託建物及び信託構築物（純額）	5,039	4,977
信託土地	3,935	3,935
その他（純額）	589	572
有形固定資産合計	26,589	26,367
無形固定資産	110	99
投資その他の資産		
投資有価証券	10,327	10,477
その他	753	727
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	11,080	11,205
固定資産合計	37,780	37,671
資産合計	40,149	39,467

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	350	274
短期借入金	3,130	3,030
1年内返済予定の長期借入金	2,253	2,159
未払法人税等	45	9
賞与引当金	67	15
その他	383	426
流動負債合計	6,229	5,917
固定負債		
長期借入金	13,666	13,167
繰延税金負債	628	676
退職給付に係る負債	81	57
受入保証金	1,890	1,863
長期前受収益	599	599
その他	401	401
固定負債合計	17,267	16,765
負債合計	23,497	22,682
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	2,699	2,699
利益剰余金	11,102	11,207
自己株式	△1,218	△1,218
株主資本合計	15,350	15,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,316	1,345
繰延ヘッジ損益	△15	△17
その他の包括利益累計額合計	1,300	1,328
純資産合計	16,651	16,784
負債純資産合計	40,149	39,467

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業収益	1,827	1,847
営業原価	1,513	1,417
営業総利益	313	430
販売費及び一般管理費	182	163
営業利益	131	267
営業外収益		
受取配当金	42	41
持分法による投資利益	13	17
その他	11	11
営業外収益合計	67	70
営業外費用		
支払利息	57	53
その他	5	3
営業外費用合計	62	57
経常利益	136	280
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
ゴルフ会員権評価損	—	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	139	280
法人税、住民税及び事業税	14	12
法人税等調整額	78	76
法人税等合計	93	89
四半期純利益	45	190



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
四半期純利益	45	190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	18
繰延ヘッジ損益	—	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	1	11
その他の包括利益合計	△72	27
四半期包括利益	△27	218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27	218
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	139	280
減価償却費	263	325
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△45	△51
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
受取利息及び受取配当金	△44	△44
支払利息	57	53
持分法による投資損益 (△は益)	147	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2	—
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損益 (△は益)	—	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	19	20
仕入債務の増減額 (△は減少)	69	△76
前払費用の増減額 (△は増加)	11	12
未払費用の増減額 (△は減少)	12	21
未払金の増減額 (△は減少)	△121	—
前受収益の増減額 (△は減少)	△4	7
未払又は未収消費税等の増減額	2	193
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	7	5
その他	6	△116
小計	523	606
利息及び配当金の受取額	43	43
利息の支払額	△56	△50
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△21	△43
営業活動によるキャッシュ・フロー	489	557
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△39	△122
投資有価証券の取得による支出	—	△1
投資有価証券の売却及び償還による収入	20	—
関係会社出資金の払込による支出	△10	—
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27	△123
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△100	△100
長期借入れによる収入	300	—
長期借入金の返済による支出	△1,153	△592
配当金の支払額	△119	△117
その他	△0	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,073	△813
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△611	△380
現金及び現金同等物の期首残高	2,339	1,435
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△47
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,728	1,008

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流 事業	不動産 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	824	963	1,787	39	1,827	—	1,827
セグメント間の営業収益又は振替高	0	14	14	—	14	△14	—
計	824	977	1,802	39	1,842	△14	1,827
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△54	369	314	1	316	△185	131

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ボウリング場の運営事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△185百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△185百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	物流 事業	不動産 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	794	1,053	1,847	—	1,847
セグメント間の営業収益又は振替高	—	1	1	△1	—
計	794	1,054	1,848	△1	1,847
セグメント利益	58	359	418	△150	267

(注) 1. セグメント利益の調整額△150百万円は、各報告セグメントに配分しない全社費用△150百万円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第1四半期連結会計期間において、株式会社東京エースボウルは総資産、営業収益、当期純利益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり、かつ全体としても重要性が低下したため、連結の範囲から除外しております。これに伴い、事業セグメントの「その他」の区分につきましては実績が無くなったため、記載しておりません。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。